

キャリア教育通信

群馬県立館林特別支援学校
令和3年5月26日
第 2 号
進 路 指 導 部

中学部では、作業学習等で身につけた力を発揮する実践の機会として、複数の福祉サービス事業所にご協力いただき、毎年2年生と3年生は現場実習を行っています。今回は、現場実習先候補として昨年度末に職員が見学した2つの福祉サービス事業所について紹介します。

① ハートフルふきあげ ちよだ事業所

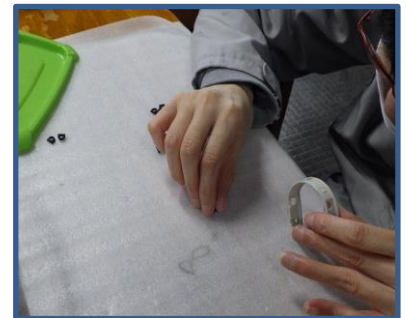
NPO法人 ハートフルふきあげ
就労継続支援B型
住所：邑楽郡千代田町大字上五箇 422



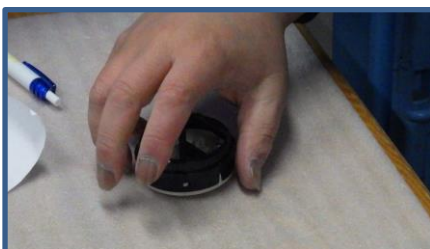
<作業内容> 自動車のエアコンのファンの部品の組み立て
にんにくの袋詰め（年間）
多々良公園の清掃活動
ネギ抜き

<施設長の小林さんの話>

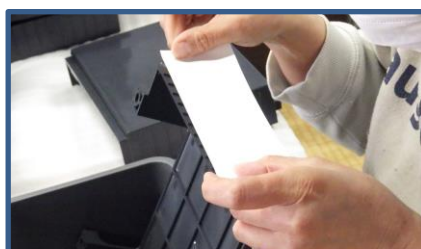
「一人一人に合った作業内容を考えています。実習は1日施設内実習または1日施設外実習となると思います。中学部の生徒の実習、お待ちしております。」



この黒い部品をこの穴にはめこみます。このパチンと入った感触が「終わった」ことを教えてくれます



2つの部品を合わせてはめます



部品の側面に



テープを貼っていきます

② 東毛地域障害者総合支援センター-APT

NPO法人HOME

就労移行支援

自立訓練(生活訓練)

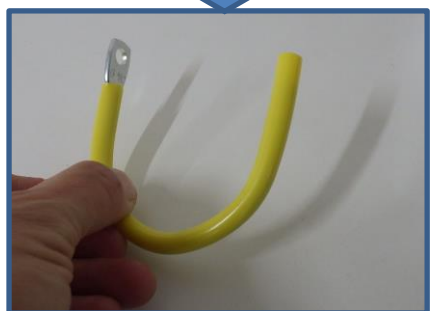
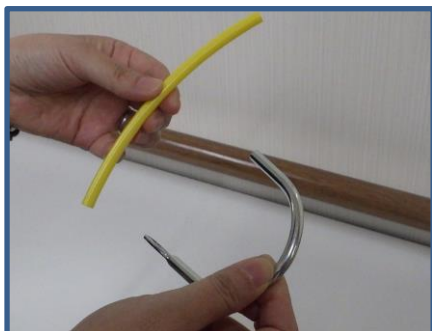
住所： 邑楽郡邑楽町篠塚寺中 4108



- <作業内容>
- 金具をチューブに入れる
 - バリ取り
 - 袋詰め
 - ポットつめ（個数+重さチェック）
 - 施設外受注作業

<施設長の高橋さんの話>

「一人ひとりに合った作業内容を考えています。毎日違う作業内容、違う作業員（飽きさせない、本人の得意・不得意を知る）で普段は作業を行っています。」



※ APTでは、作業でできることが増えると、認定証がもらえてリーダーとなり、施設内作業で他の利用者さんに教えられるようになったり、施設外作業に出られるようになったりしているそうです。

③ 東毛地域障害者総合支援センターLAT

NPO法人HOME

就労移行支援

就労継続支援B型

住所：群馬県邑楽郡邑楽町篠塚 3992-2



<作業内容> バリ取り

施設外受注作業

<施設長の高橋さんの話>

「LATはAPTと違い、2年間という期限、猶予があります。障害をもった人であってもすぐに就職でなく、いろいろとチャレンジできる場があってもいいという考えで作られた場です。社会人講座など、いろいろなことを学ぶ機会もあるそうです。APTでも行っています。」

【見学して、感じたこと】

- 両施設とも、入ると明るい声で挨拶をしてくれる利用者さんがいてくれたことです。

働く上で大切なのは「あいさつ」だと思います。働くことは人とコミュニケーションを取りながら、みんなで目標達成、成果をあげることで、その人とのコミュニケーションは『あいさつに始まり、あいさつで終わる』と言われるほど大切なものです。

- 作業のスキルが上がる度に、認定書がもらえるシステムがあり、すばらしい(APT)。

認定書をもろうことで、最終的にはリーダーとして、他の利用者さんに教えたり、施設外作業へ行くことができたりするという目標ができる。

作業で身につけるスキルがしっかりと明記されていることで、目標がもちやすく、意欲的に作業に取り組むことができる。

認定証があることで、利用者さんにも支援者にもその人のできること、やっていることが分かりやすくなっているのだと思います。その「分かりやすさ」がお互いの納得に、よりよい仕事につながるものです。

本校では、本人や保護者の方の希望をとり、担任と相談しながら実習先を決めています。実習をとおして生徒が、働く楽しさや喜びを少しでも感じたり、いつもと違う環境の中で頑張れたという自信につながったりしていけたらと考えています。もちろん、生徒の課題を見つけられる場ともなり、それを日々の作業学習や生活の中で改善できるように一緒に考えていきたいと考えています。

